

第 19 回ビルマ人権の日のデモ行進を日本で行う。

キョウ・キョウ・ナイ (2007. 3. 14)

(翻訳) ナン・カン・モ・トゥン

ビルマで1962年3月2日に独裁軍事政権が始まってからビルマの人々は人権を失いました。1988年に8888デモが行われて、ビルマ民主活動家が3月13日をビルマの人権の日として決めました。それを受けて国外にいるビルマ人はそれぞれの在住国で記念のデモを行いました。

日本では19回目の人権の日のデモ行進が2ヶ所に分けて行われました。

昼間のデモ行進は東京の南五反田公園で集合して品川にあるミャンマー大使館の前まで行進して、スーチーさん、ティン・ウーさんとすべての政治囚を早く解放するよう、国民に対する人権侵害をやめることなどを要求したタン・シュエー將軍への手紙をミャンマー大使館のポストに入れてから近くの公園に集合してデモ行進を終わらせました。そのデモはビルマ民主活動家のグループと在日ビル

マ連邦少数民族協議会が指導して行われました。

夜のデモ行進は“民主主義の光で暗さと戦う”という題名で行われました。そのデモは夜5時から6時半までで、東京都千駄ヶ谷駅の近くにある明治公園から出発して、渋谷の千駄ヶ谷公園まで行進して終わらせました。それは国民民主連盟解放地域（日本）、在日ビルマ連邦少数民族協議会などが指導して行われました。夜のデモにスーチーさん、ティン・ウーさん、クワン・トゥン・ウーさんとすべての政治囚の解放と1990年総選挙の結果を実行させること、日本の政府はビルマ政府に対して圧力かけるようになどの要求のスローガンでデモ行進しました。